

2025年度 上級生アンケート【国際教養学部】集計結果

このアンケートは、2, 3年生の上級生を対象に「どのような意欲を持っているか」及び「何を身につけたか」、「どのようなスタンスで学修し、どの程度学修に時間を割いているか」を問うものです。

●実施期間：2026年1月5日～2026年2月28日

●対象学生：アンケート開始時点で在籍している2～5年生（※休停学、留学中の学生は除く）

■回答率

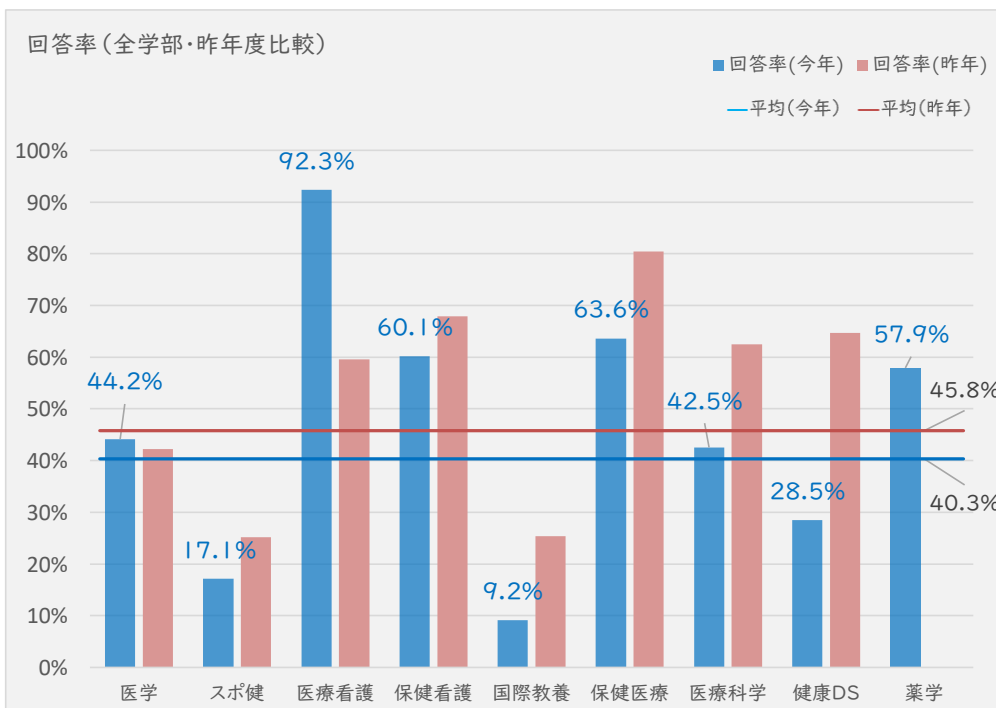
上級生アンケート	今年度								昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
医学部	44.16%	(+1.93%)	4.71%	242名	(+11名)	306名	548名	(+1名)	42.23%	231名	547名
スポーツ健康科学部	17.12%	(-8.05%)	6.17%	209名	(-99名)	1012名	1221名	(-3名)	25.16%	308名	1224名
医療看護学部	92.34%	(+32.77%)	1.36%	398名	(+146名)	33名	431名	(+8名)	59.57%	252名	423名
保健看護学部	60.14%	(-7.80%)	4.64%	178名	(±0名)	118名	296名	(+34名)	67.94%	178名	262名
国際教養学部	9.17%	(-16.19%)	14.24%	43名	(-63名)	426名	469名	(+51名)	25.36%	106名	418名
保健医療学部	63.64%	(-16.83%)	3.41%	301名	(-78名)	172名	473名	(+2名)	80.47%	379名	471名
医療科学部	42.54%	(-19.96%)	5.99%	154名	(-66名)	208名	362名	(+10名)	62.50%	220名	352名
健康データサイエンス学部	28.50%	(-36.14%)	10.79%	59名	(-5名)	148名	207名	(+108名)	64.65%	64名	99名
薬学部	57.92%	—	6.17%	106名	—	77名	183名	—	—	0名	0名
★全学部合計(平均)	40.33%	(-5.45%)	1.84%	1690名	(-149名)	2500名	4190名	(+211名)	45.79%	1738名	3796名

国際教養学部 (学年別)	今年度								昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
2年生	10.08%	(-10.30%)	18.23%	26名	(-17名)	232名	258名	(+47名)	20.38%	43名	211名
3年生	8.06%	(-22.38%)	22.79%	17名	(-46名)	194名	211名	(+4名)	30.43%	63名	207名
★学部合計(平均)	9.17%	(-16.19%)	14.24%	43名	(-63名)	426名	469名	(+51名)	25.36%	106名	418名

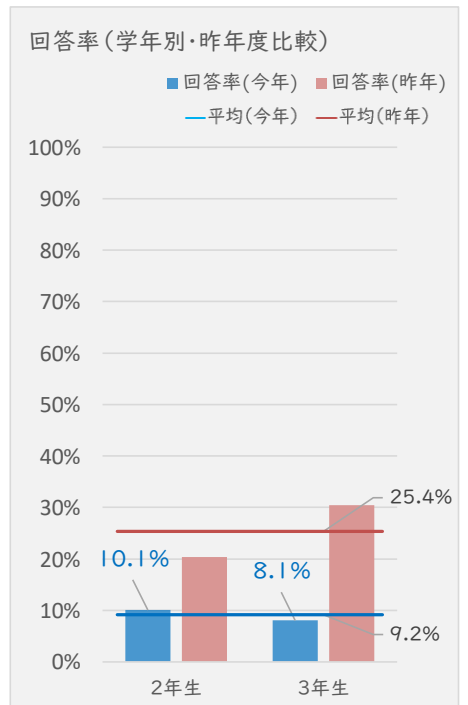
※ 許容誤差：信頼水準95%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）

※ 新設学部・新学年：医療科学部（2022年度開設）／健康データサイエンス学部（2023年度開設）／薬学部（2024年度開設）

※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景



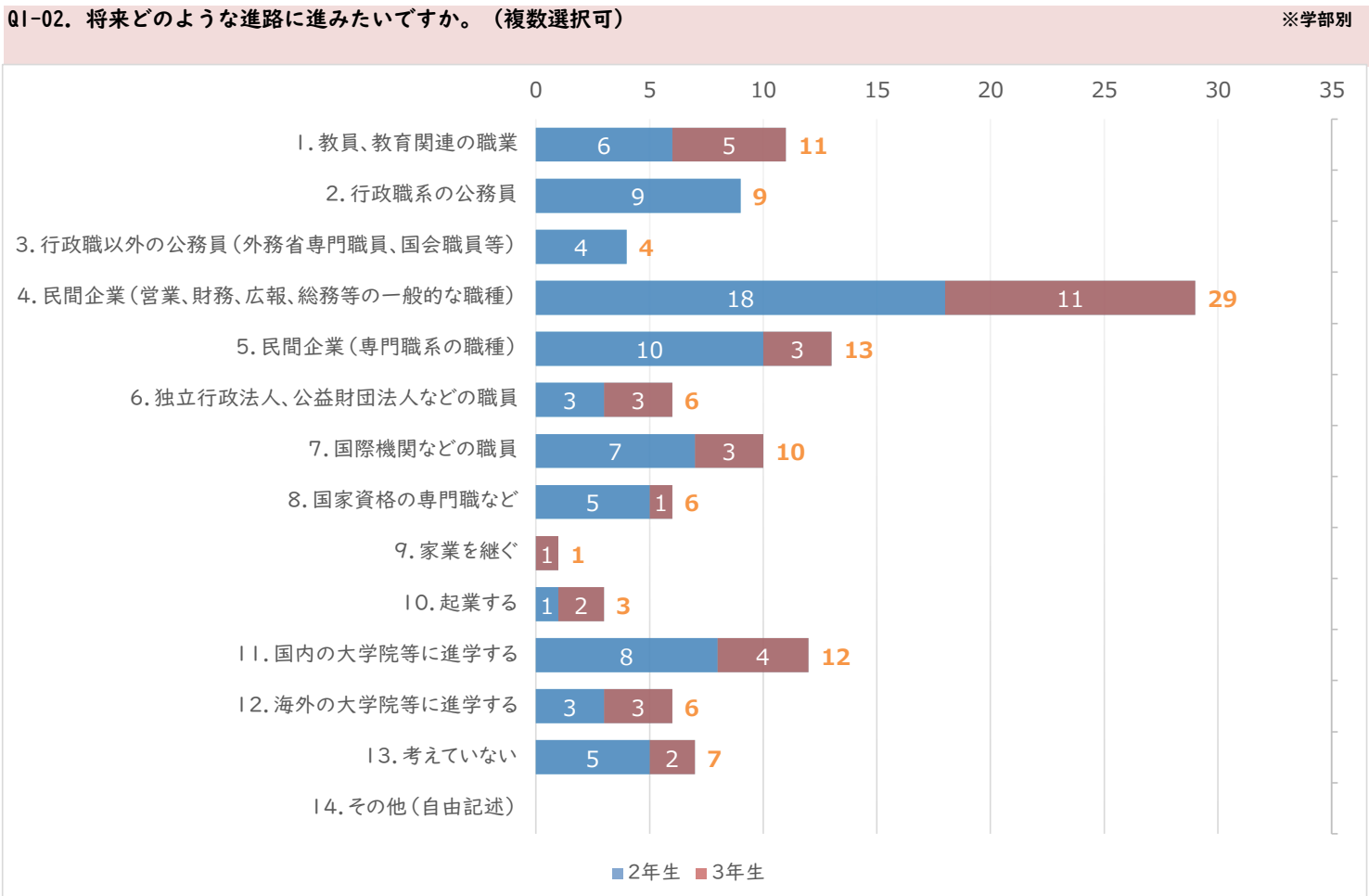
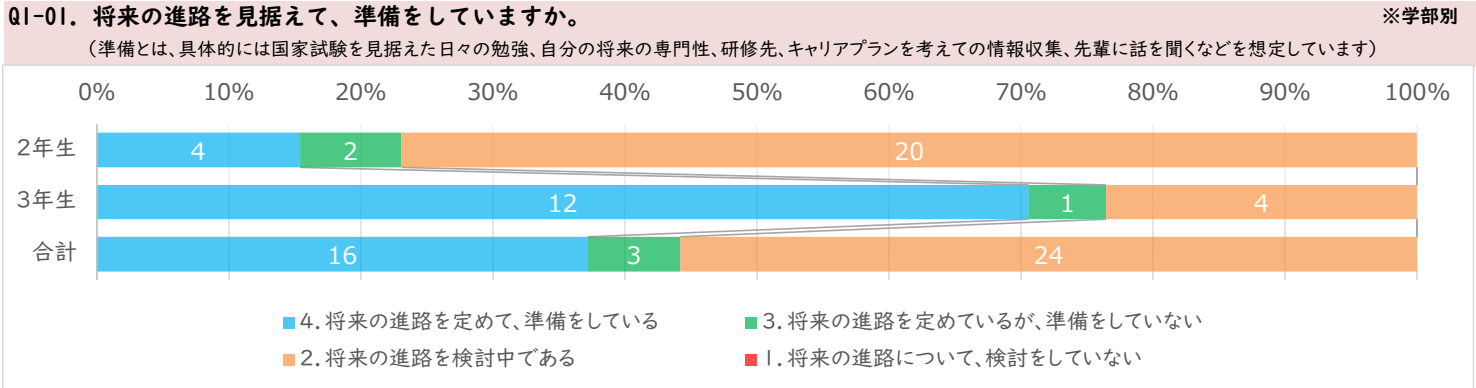
▼国際教養学部



■アンケート結果

※グラフ中の数値は回答数

【1. 意欲に関する設問】



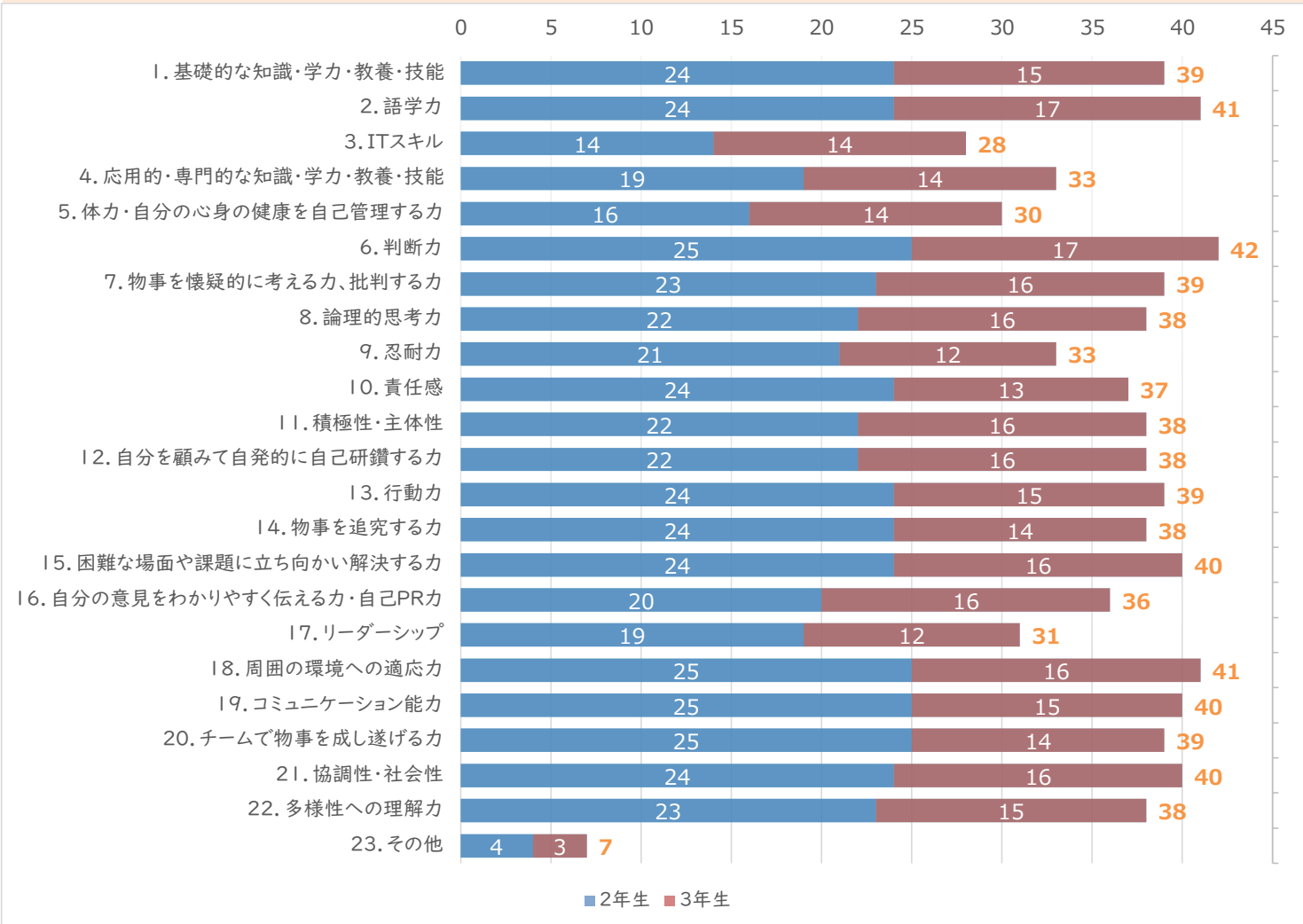
【その他(自由記述回答)・抜粋】

【1. 意欲に関する設問】

(続き)

Q1-03. 今後の大学生活で身につけたい力は何ですか。(複数選択可)

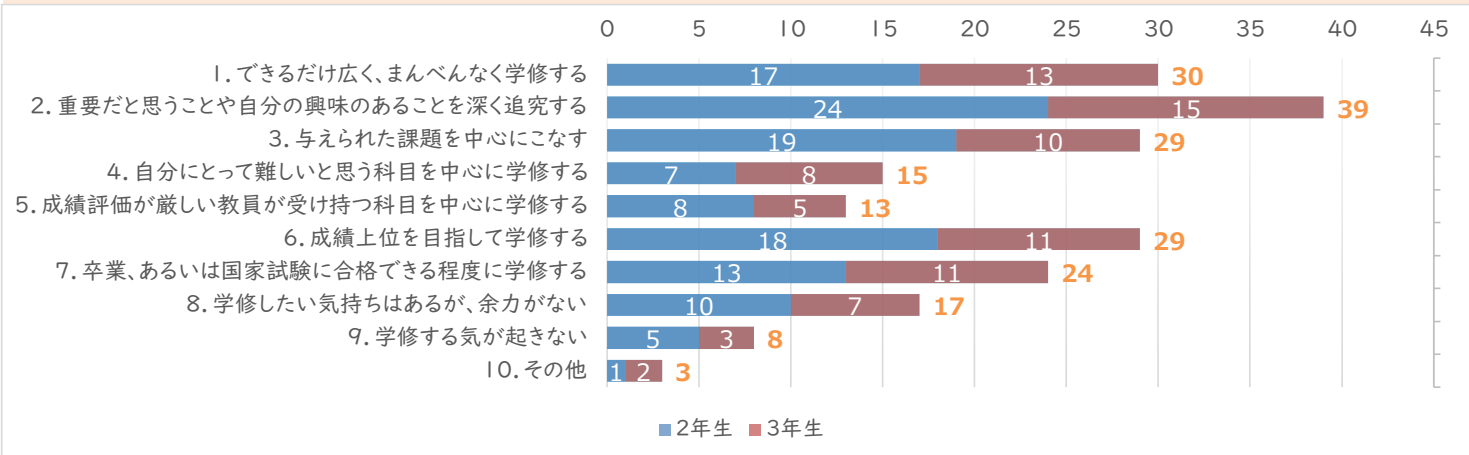
※共通



【その他（自由記述回答）・抜粋】

Q1-04. 現在の、学修に対するスタンス（姿勢）として、当てはまるものはどれですか。(複数選択可)

※共通



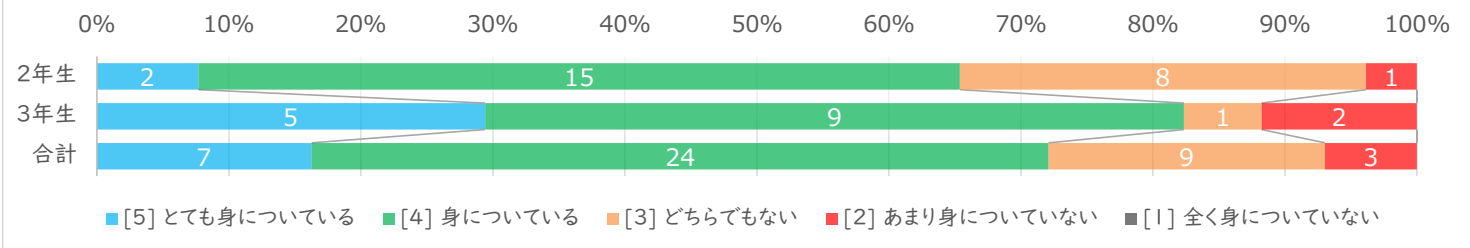
【その他（自由記述回答）・抜粋】

【2. 成長の実感に関する設問】

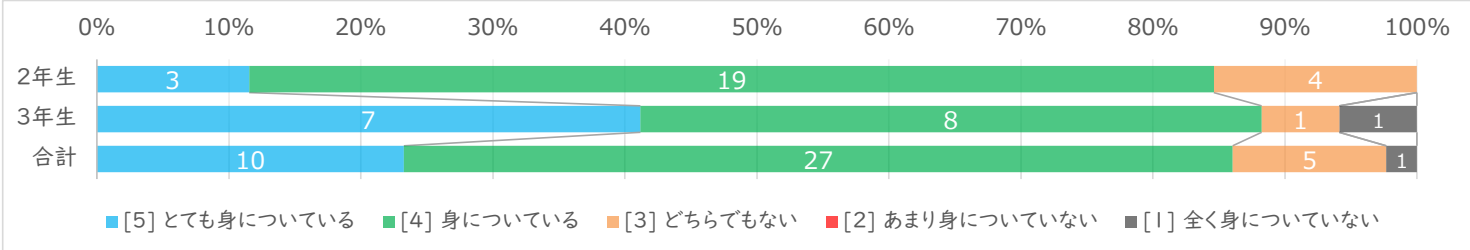
Q2-01. 以下は、国際教養学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

※学部別

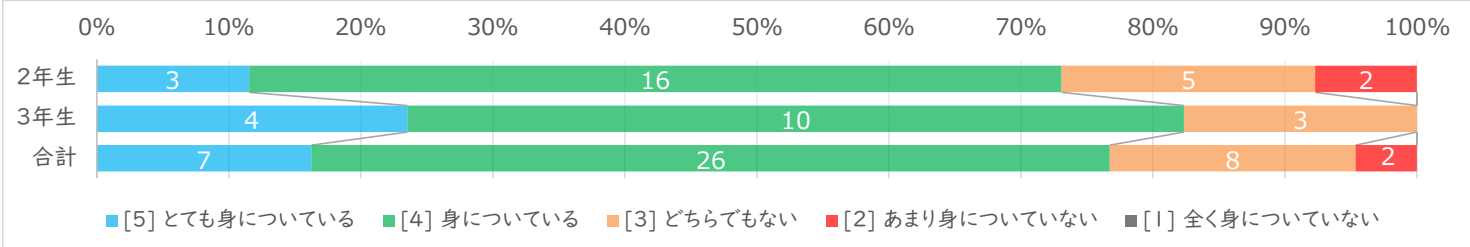
① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力



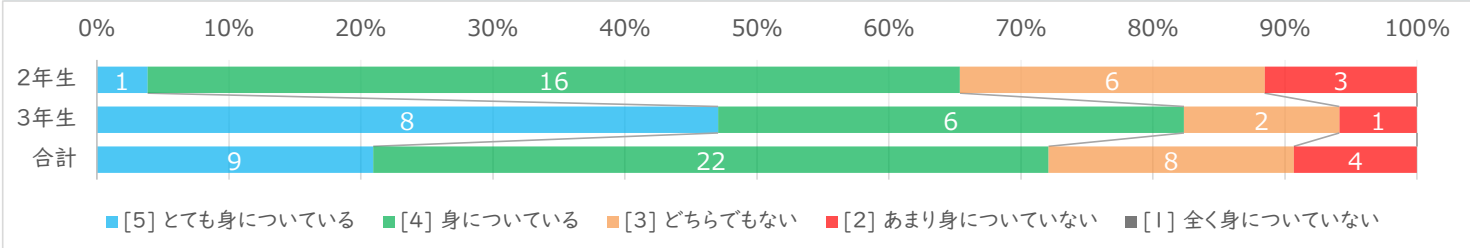
② 自分とは異なる人間や文化を理解する心を滋養し、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力



④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化の違いを超えて活躍できる専門性（異文化コミュニケーション、グローバル社会、グローバルヘルスサービスの三領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力

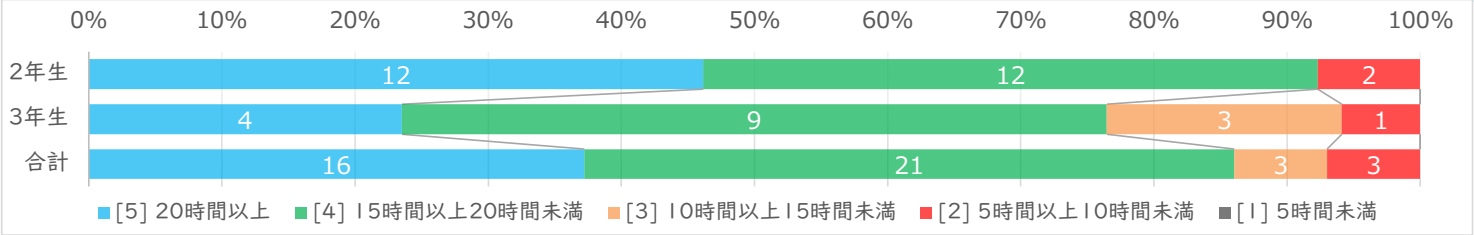


【3. 学修時間に関する設問】

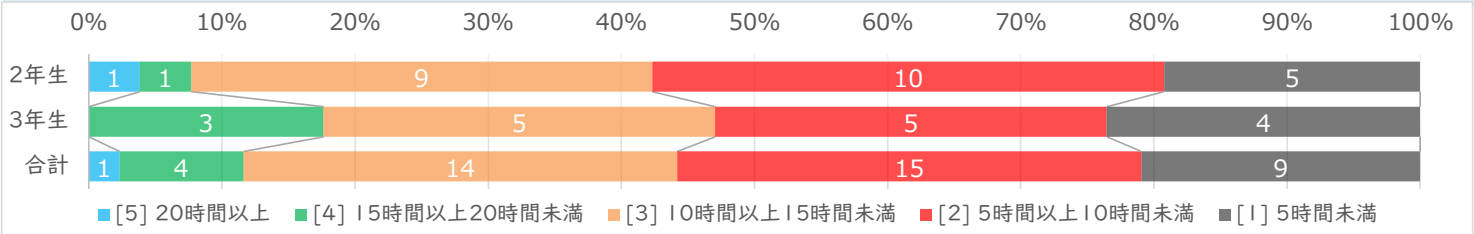
Q3-01. それぞれの学修時間に関する設問に対して、当てはまるものを選択してください。

※共通

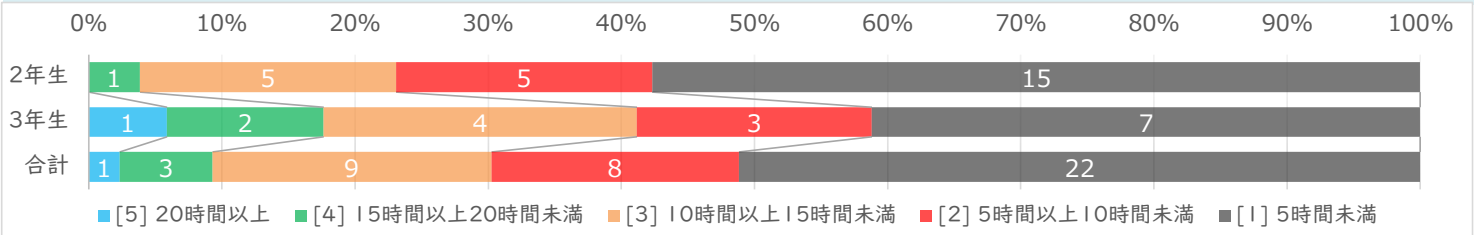
A. 授業・実習を受ける時間（1週間）はどの程度ですか。



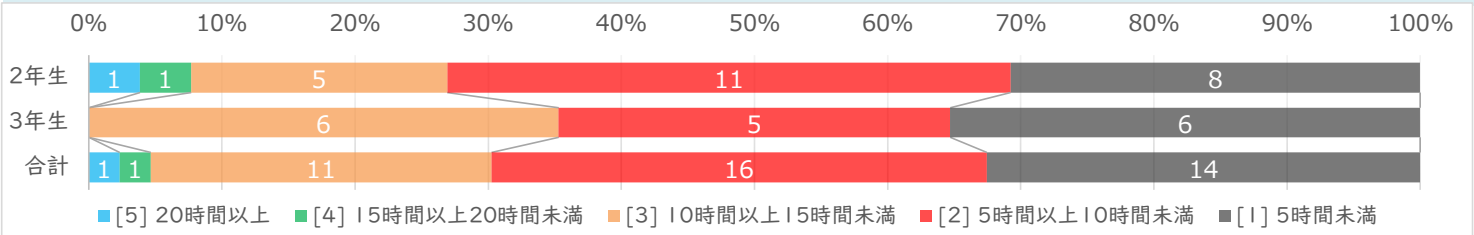
B. 予習・復習・期末試験勉強等の関連学習にける時間（1週間）はどの程度ですか。



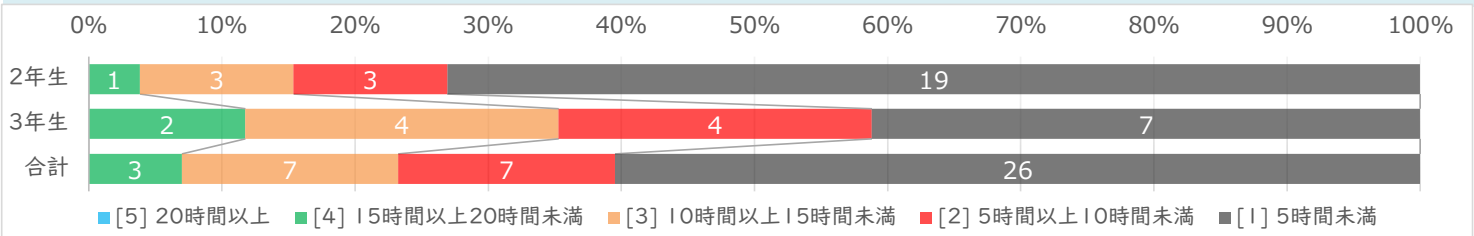
C. 授業の予習復習・試験対策ではない、自発的な学修にける時間（1週間）はどの程度ですか。



D. 資格試験（語学等）や国家試験のための学習にける時間（1週間）はどの程度ですか。



E. 自己啓発、教養のための活動や読書にける時間（1週間）はどの程度ですか。



Q3-02. 日頃から継続的に学修しますか。試験前に集中して学修しますか。

※共通

